

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

様式2
(2023年度)

事業実績報告書

講座番号	B-35	講座名	テクノロジーカフェ
記載日	2023/9/29	団体名・企業名	公益社団法人日本技術士会中部本部登録 倫理実践力開発普及会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>テクノロジーカフェはサイエンスカフェの技術者版です。リラックスできる空間で、現役の技術者が最先端技術について話題提供します。その話題を軸に参加者は話を広げていきます。みんなでわいわい議論する形で、テクノロジー、そして環境に対する理解を深めていきます。</p> <p>今はカフェとZOOMの両面で運営してます。遠くは地球の裏側ドイツから参加される方もいます。</p> <p>日ごろ技術について縁のない方でもテクノロジーカフェを通じて技術者と距離が縮まれば幸いです。脱線歓迎。普段表にでてこない現役の技術者にいろいろぶつけてみましょう。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
講師石川さんの話題提供。かなりマニアックな話をするのも……		時々、講師より詳しい補足をする聴講者たち。協道の話も楽しいです。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>テクノロジーカフェは、現在Webと会場の二方面の講座運営をしています。</p> <p>場の雰囲気としては、本物の喫茶店をお借りした会場が一番リラックスして環境がよいと思いますが、ZOOMでは自宅でリラックスできるというメリットもあります。</p> <p>話題に夢中になったとき、ZOOM越しという意識はなくなることでしょう。それを目指して運営してきたいと思います。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>「プログラミング的思考」の大切さが伝わる。わかりやすい内容だった。小学生の参加にも違和感を感じさせない説明が良かった。</p> <p>うん十年前に文字でプログラムを作ってデータ処理していた者としては隔世の感がすごすぎました(笑) 難しいことを易しい言葉でお話頂けてザックリではありますがよくわかりました。</p> <p>プログラミングはよく解らない人間だったけど、プログラミングが身近であることと、面白さと難しさも分かったのですごく実りある講座だった。</p> <p>京都の建築は見る機会がなかったので今回は面白い観点で紹介されていて良かった。江戸時代はいろんな人ができる仕事のバリエーションがあるみたいで働きやすそうと思った。</p> <p>いつもだとPCや科学技術(マニアックな)が紹介されるが今回はそれがなかったためていねいなお話ありがとうございました。</p>			